

★★義務教育学校整備事業により住民サービス低下に繋がらないか??★★

理事者の回答によると、義務教育学校整備事業を実施すれば一般財源からの持ち出しを約44億円抑えることができるとのことでした。ただ、義務教育学校を整備することによる一般財源からの持ち出しがやはり約43億4千万円にも上る大事業であることは確か。王寺町では、今後も多くの事業を予定しており、多額の事業費用が今後必要となることは予想されています。多くの住民の方々が心配されているのは、このような多額の事業費の支出によって将来的に住民に多額の費用負担が課されるのではないかということです。本年度から公民館の使用が有料化となりましたが、今後、ごみ収集が有料化になるなど、住民サービスが低下するのではないか??

(以下、理事者からの回答の抜粋)
「特定財源というのは今後できる限り国の方をお願いを申し上げて、できるだけ国・県の特定財源を確保していく…」
「多年にわたって…計画的な事業を取り組んでおり…」
「財政調整基金で36億円、公共施設整備基金で14億、減債基金で14億という基金を貯めている…」
「多額の支出に備えるために貯めてきた基金」
「起債を借りることによって…将来の住民の方にも応分のご負担を…」
「長期的な計画のもとで…財政の運営…」
「今、一番国にとって制度的にしっかりとバックアップをしてくれている義務教育学校を任用することによって…財政的な国の支援、県の支援をいただく…」
「使用料の徴収…これは決して、義務教育学校をつくる費用に充てようとしてその金額をいただいているということでは決してございません」
「長い将来の町のそれぞれの館の運営をいかにやっていくかということの中から使用料をいただくもの」

太郎君 「なるほど。僕の知らないところで、そういう議論があるってことなんですね。」

若林かずみ 「そうそう。町の重要なことが議論されているので、是非、一度、傍聴に来てみて！王寺町から発行されている『議会だより』に議会の日程は掲載されているから。」

太郎君 「分かった！じゃ、かずみさんの雄姿を楽しみにしてるよ！じゃ、また！」

若林かずみ 「…（笑）」



☆かずみコメント☆

☆「義務教育学校整備事業を含め多額の事業費の支出によって、将来的に住民に多額の費用負担が課されるのではないのか、住民サービスが低下しないのか」という問いに対しての直接的な答えというものはただけず、公民館の使用の有料化の是非のところで議論が混乱したまま持ち時間の60分が終了してしまうという残念な展開となってしまいました。これは、私の不徳の致すところです。。。

☆いずれにしても、義務教育学校整備事業については、現状の3小学校2中学校を存続させるよりも、財政的にはメリットがあるようです。現在の国の施策としては、義務教育学校を推進しているようですので、財政的な国の支援や県の支援をいただけるチャンスかもしれません。これについては、理事者の皆様のご尽力を期待したいところです。

☆また、そもそも「費用面での負担が少ないというだけで義務教育学校整備事業を実施してもいいの？教育の内容という側面から考えて大丈夫なの？」という疑問は、もちろん、出てくるかと思えます。それに関しては、今後も、「義務教育学校の設置検討調査研究特別委員会」において、しっかりとチェックしてまいります。

☆☆お詫び☆☆ 「王寺町政ナビ」は、不定期で発行しております。連絡先が分かっている方には、郵送にて発送させていただいておりますが、それ以外の方には、若林かずみ自身が個別に配布しているため、お手元に届くまでに大幅な時差が生じておりますことをご了承願います。

☆後援会のご案内☆
住所：奈良県北葛城郡王寺町本町 2-20-2
tel：0745-73-5080 / fax0745-32-7869
email：waka.kazumi.nara@gmail.com
※事務所へのお問い合わせはメールがスムーズです。
※会員になっていただくと、ご自宅へ定期的に会報をお送りいたします（会費無料）。

王寺町政ナビ

若林かずみと王寺町の発展を目指す会誌 vo2

特集！
義務教育学校整備事業

王寺町議会議員

わかばやし

若林かずみ



☆☆ご挨拶☆☆

去る4月の統一地方選挙におきまして王寺町の多くの住民の皆様から支援をいただき、王寺町議会に送り出させていただきましたこと、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

今後は、皆様の期待に応えられるよう、しっかりと精進してまいりますので、何卒宜しくお願い致します。



さて、久々に太郎君登場！（^_^♪

★若林かずみさんと王寺町在住の大学1年生の太郎君（19歳）が王寺町政について語ります。王寺町役場に向かって、国道168号線沿いを歩いていたところ、太郎君と出会います。

若林かずみ 「太郎君！久しぶり！今から学校？」

太郎君 「はい！今日は昼から授業なんですよ〜」

若林かずみ 「そうなんや。今度、9月の議会に、是非一度、傍聴に来てみて。9月上旬が定例会なんだけど、その頃なら、大学も夏休みでしょ？」

太郎君 「た、たしかに…。夏休みです…。でも、そんなん行っても面白くないんじゃないんですか??（恐る恐る…）」

若林かずみ 「うーん。面白いと思うかは太郎君次

第…。ひとまず、一般質問の時に来てみたら、どんな感じか分かると思うよ。」

太郎君 「一般質問って、単語はよく聞くけど、具体的に、どんなことをするんですか？」

若林かずみ 「簡単に言うと、一般質問とは、定例会において自治体（例えば、王寺町）の政策や制度について、議員が自由な意見を述べることができ、それに関して自治体執行部の公式見解を引き出すことができる機会ということができるかな。」

太郎君 「ふーん。この間、定例会っていうのがあったみたいけど、かずみさんはどんな一般質問をしたの？」

若林かずみ 「6月の定例会では、義務教育学校整備事業について一般質問をさせていただきました。じゃあ、それについて、お話ししよう！」